

2025年(令和7年)2月18日

環境大臣 浅尾慶一郎 様

奥阿仁マタギの里 にぎわいプロジェクト

代表 鈴木兼芳

要 望 書

「奥阿仁マタギの里 にぎわいプロジェクト」推進に係る

森吉山国定公園新規指定時の拡張地域について

<連絡先>

〒018-4735 北秋田市阿仁戸島内小倉岱92

電話：0186-84-2132

1. 要望の経緯

奥阿仁地域は少子高齢化が加速し、このままでは一気に消滅しかねない状況を迎える中、私達は環境省が進めている森吉山の国立・国定公園化を契機に、奥阿仁地域の賑わいづくりが出来ないものかと、市の取組を注視してきたところです。

その矢先、昨年11月さきがけ新報掲載記事(晩秋の打当川沿い 滝と紅葉、多彩な魅力)で、打当川を案内したNPO 森吉山ネイチャー協会の宮野貞壽理事長のことを知り、これまで市・県・環境省への要望活動についてお話を伺いました。

宮野さんたちが組織する「森吉山の価値と未来を考える会」は、森吉山や内陸線利用者が周遊できる歩道等を整備するため、環境省に対し小又川・大又川全流域と内陸線沿線の里地里山を全て自然公園に組入れてほしいという要望書活動を行っていることを知りました。

私たちは、その考えに賛同した奥阿仁地域在住の有志で「奥阿仁マタギの里、にぎわいプロジェクト」を組織したところです。

2. 「奥阿仁マタギの里 にぎわいプロジェクト」の目指す姿について

奥阿仁地域(幸屋、比立内、長畑、戸鳥内、中村、打当)は、比立内地区から「打当温泉マタギの湯」に至る約10kmの河岸段丘に里地里山が広がる日本の原風景が現存しています。

特に打当川は、緑色凝灰岩(グリーントフ)の河床に森吉山の噴火物が重なり奇岩怪石の溪相が連続し、河岸段丘(25~50m)からは7つの滝が流れ落ち、並走するスマイル列車が7カ所の橋梁を渡る姿を追い求める、全国の乗り鉄・撮り鉄達が訪れる推奨スポットになっております。

私たちが子供の頃から遊び場として慣れ親しんできた里地里山と打当川・比立内川全流域の原風景を国内外のお客様に広く紹介し、壮大な遊び場を造るためには、この10km区間を三つの散策歩道(吊り橋、河床・段丘歩道、旧道復活歩道)で繋ぎ、休憩所や売店、展望所や公衆トイレ、多言語標識等を整備しなければなりません。

「奥阿仁マタギの里 にぎわいプロジェクト」は、仙北市の抱返り溪谷や湯沢市の小安峡にはない、内陸線スマイルレールが里地里山をめぐる溪谷歩道と並走する姿です。

3. 要望内容

- (1) 本プロジェクトは、十和田八幡平国立公園のマタギの里ではなく、森吉山を冠名とする「森吉山国定公園のマタギの里」でなければなりません。
- (2) 目的達成のため、奥阿仁地域一帯の河川・里地里山・内陸線沿線を公園区域に組入れてくださるよう特段のご尽力をお願いするものです。